

「話し合いの動画を見ながら、司会の役割を話し合う」

～話し合いの話題や方向を捉えて的確に話す～

個々の発言の内容を整理しながら、話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たすことに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、話し合いの動画を基に、司会の役割と具体的な発言について話し合う学習を提案します。司会は、実際の話合いの中で、発言する内容を具体的に考える必要があります。一つの場面でも、司会の役割は複数考えられ、幾つかの発言の仕方があることに気付くことを狙いとします。



課題の見られた問題の概要と結果 … A1 話し合いをする

学習指導要領における領域・内容

A1二 正答率 55.2%

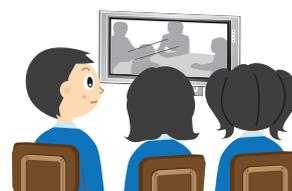
〔第1学年〕A 話すこと・聞くこと オ

話し合いの方向を捉えた司会の発言として適切なものを選択する。

授業アイデア例

1 話し合いの様子を記録した動画を見て、課題を把握する。

身近な話し合いの動画（ここでは、「文化祭のオープニングは何を行うか」をテーマにした文化祭実行委員の話し合いの様子の記録）を提示し、司会の役割について考えさせる。



2 話し合いの流れが変わる場面で止めて、司会の役割と発言について話し合う。

例えば、次のような場面を意図的に取り上げる。

南さん: 私は、全校生徒の校歌斉唱から始めるのがよいと思います。出し物に合唱を選んでいる学級も多いので、声を出す練習にもなってよいと思います。

長井さん: 私は、実行委員長がスローガンを言うのがよいと思います。

山田さん(司会): 雰囲気が高まるので、吹奏楽部の演奏で始めるのがよいと思います。

早川さん: 異なる意見が出ていますが、あなたが司会ならどのように進めますか。



「長井さん、なぜ実行委員長がスローガンを言うのがよいのですか。」と発言の理由を聞くのはどうかな。

意見をまとめていきたいから、「三つの意見が出ていますが、それぞれの長所と短所を整理してみましよう。」はどうか。



3 司会の役割をまとめる。

司会がどのような発言をするかによって、話し合いの流れが変わります。司会の役割を踏まえた上で、状況に応じてどのような発言をするべきかを具体的に考えて、話し合いを進めることが大切です。



〔まとめの板書例〕

司会の役割と具体的な発言例

① 発言の内容を整理する
「今の〇〇さんの考えは、……ということですね。」

② 理由や根拠を明確にする
「〇〇さんが……と考えているのはなぜですか。」

③ 他の意見を求める
「〇〇さんの発言に関連する意見はありますか。」

④ 出された意見を比較・検討する
「それぞれの意見には、どのような長所と短所がありますか。」

⑤ 結論を確認する
「……については、……することに決まりました。」

本授業アイデア例 活用のポイント

- 話し合いには、意見を広げる場合や意見を一つにまとめる場合などがある。その話し合いの目的に応じて方向を捉え、司会の役割を考える必要がある。
 - ・ 意見を広げる題材の例
「身近でできるボランティア」
「身近な言葉遣いの問題点」など
 - ・ 意見を一つにまとめる題材の例
「修学旅行のグループ別コース」
「学級文集のテーマ」など
- 話し合いの動画は、日常の学級活動や委員会活動での話し合いを記録したものを活用することが考えられる。また、教師が作成したシナリオを生徒に演じさせたものを録画して活用してもよい。